

新入職員紹介



氏名：浅岡愛子
所属：特別養護老人ホームのぞみ
業務：介護

この仕事に就いて私は、常々住人さん本位の生活を頭に入れ、丁寧にやってきました。これからも、「あなたがいるとホッとするね」と言っていただけよう頑張りたいと思います。

好きな事：ミスチルが大好きで、特に「365日」の曲がお気に入りです。



氏名：山之内美由起
所属：デイサービス事務所
業務：介護・事務

介護の仕事は人が人を見るお仕事なので、間違いはあっても正解がないと思います。だから“一緒に”共感したいと思いながら、介助に携わせていただいています。

趣味：神社・仏閣巡り
特技：小物作り・ミシン



氏名：川本貞子
所属：事務所
業務：事務

高齢者施設での事務は初めてで、分からないことばかりです。皆様には何かとご迷惑をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。

趣味：トレッキング
特技：フットマッサージやリフレクは家族からも喜ばれます。

愛知三愛福祉会 職員募集のご案内

愛知三愛福祉会では現在、**職員の募集**しています。
自然豊かな環境・家庭的な雰囲気の中で、一緒に働いてみませんか？

特別養護老人ホームのぞみ・グループホームあいわ・デイサービスさんあい
介護職員 常勤・非常勤
看護職員 常勤・非常勤

詳しくは愛知三愛福祉会ホームページの求人情報にアクセスをしていただくか、お電話下さい。
ホームページ：<http://www.sanaifukushikai.jp/>
電話：0561-75-4321 担当：三吉

実地指導を受けて

実地指導とは行政が事業所に対して適正な事業運営が行われているか確認をすることを指し、高齢者の介護を行う事業所は介護保険法・老人福祉法において、定期的に行われています。よく監査と同じ意味と捉えられてしまうのですが、監査は苦情や運営基準違反等に対する改善の勧告・命令をすることが目的になりますので、今回受けた実地指導とは違います。

社会福祉法人愛知三愛福祉会では8月22日（火）に愛知県と日進市の職員が来所され、今回初めての経験でしたが介護保険法と老人福祉法の同日の実地指導が行われました。法人関係や介護関係の記録・労務関係・介護請求関係・会計関係等の諸規定集や書類等々の確認をされ、軽微な文言・文章等の訂正の必要はありましたが、特に改善事項はありませんでした。

この結果に満足せず、コンプライアンス（法令順守）・日々の適正な事業運営・職務を誠実にこなしていきたいと考えています。

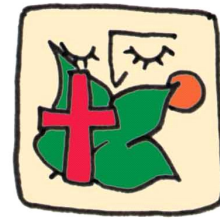
確認をした各書類の一部



編集後記：人が生きて行くうちには沢山の出会いと別れが繰り返して起こります。その中で、私達は心残りのないように、後悔がないように日々最善を尽くしたいと願って歩みます。この頃、施設で住人さんや職員の間でも特に別れが目立ち、寂しさを感じる事が多くなっています。しかし、その都度、感謝や期待又新たな希望を抱き、今しかできない事に精一杯心を尽くそうと感慨を新たにしています。

季節の変わり目に皆様の心身の健康が守られますようにお祈りいたします。

SH.Y



三愛だより

第53号 2017年 9月

社会福祉法人愛知三愛福祉会
日進市米野木町南山987-104
発行者：理事長 池田 曠

愛知三愛福祉会と共に歩んだ14年

2003年10月に介護士として入職してから、デイサービスさんあい→特養のぞみ→デイサービスと異動して、その後施設のケアマネージャーとなり、合計で14年の月日が流れました。

もともと介護の職に就こうと思ったきっかけは2001年秋に亡くなった父でした。病気をしたことがない父がすい臓がんで闘病期間11ヶ月、あっという間になくなっていきました。かなりの頑固者でわが道を行く父が自宅に帰りたいといいながら何の手助けもできず病院で亡くなっていき無念な気持ちが残りました。皆どうやって亡くなっていくのだろう？と、知りたいと思いヘルパー2級を取りつつ近所のグループホームで働き始めました。同時に母子家庭で生きていくことも決断した時期と重なっていました。

そして開設とともに愛知三愛福祉会で働くことになりました。すべて白紙で始まり、約1ヶ月の研修のあと、書類1枚から自分たちで話し合いながら作っていきました。

「開かれた施設にしよう。」「誰もが立ち寄れる施設にしよう。」と話し合いの連続でした。研修時に当時の施設長が話していた言葉「だれもが個性がある。ある人はキャベツ、ある人はトマト、単体では味気ないがいろんな素材が集まって美味しいサラダができる。個性はあればあるほどいい、皆の個性が活かせる、そんな施設にしたい。」その言葉が心にすっと入りました。皆で話し合いながら住人さんや利用者さんのがのぞむことは何だろう？と試行錯誤することばかりでした。

その中で私が心掛けてきたことは、

- ①施設の玄関に入ったら仕事モードに切り替えること。
- ②住人さんや利用者さんのお手伝いをする時に、もし自分がその人の立場だったらどうしてほしいか？どうしたいか？と考えること。

毎日いろんな事が起こる中、住人さんや利用者さんたち、御家族、スタッフたちとの出会いと別れがありました。全てが学びでした。知恵を伝えて下さり優しさを示してくれ私はいつも助けてもらいました。



入職した当時小学校2年生で、児童クラブより三愛が好きだった娘は現在大学4年生になり看護学を学んでいます。9月からイギリスへ留学、私は新しい生活を送るため関東へ引っ越すことになりました。

介護の仕事に就けたこと、三愛のスタッフとして今まで関わらせて頂けた事に心より感謝しています。

有難うございました。

施設ケアマネージャー 森下ユリカ
在籍期間：2003年10月1日～2017年9月30日（14年）

お知らせ

社会福祉法人 愛知三愛福祉会 開設14周年記念式典

日時：2017年 11月 3日（金曜日・祝日）午前 10 時
場所：特別養護老人ホームのぞみ 1階ホール

1部 記念礼拝・職員勤続者表彰・後援会総会
2部 文化祭 14時～15時30分



第14回 三愛夏祭りを終えて

夏祭り実行委員長 三吉 司

今年の夏祭りは例年より1週早い第3日曜日8月20日、14時から開催いたしました。開始10分前となっても1階に見える人数が少なく慌てましたが、気付けば、いつもの通りたくさんの方が参加され、普段の生活とは違った住人さんとご家族さんの笑顔を見ることが出来てました。何より事故や怪我がなく無事に終える事ができてほっとしています。

さて、三愛夏祭りでは開催に向けて年度始めから夏祭り実行委員会を開催して、今年はどのような夏祭りにするのか、少しでも参加される方々が快適に、楽しく過ごして頂けるか話し合いを重ねました。

今年も、夏祭りの見どころとして「和太鼓龍桜流燦々」のボランティアさんが来てくださいました。理事長の開幕宣言に合わせ、太鼓の力強い音が響きました。太鼓公演は祭りが終わるまで雰囲気を作り上げて下さいました。

駐車場の誘導や浴衣の着付け等職員たちの参加もあり、住人さん、ご家族、職員皆が楽しい1日を過ごすことができました。

これからも皆が楽しく過ごせる夏祭りの開催にあたって改善や工夫をしていきます。

皆様のご協力ご参加ありがとうございました。



チケット売場



理事長の開幕宣言



三愛だんご



スケジュール



盆踊り



和太鼓龍桜流燦々



ポテト・焼き鳥



ゲーム



ボランティアのご紹介

『夢ほたる鳴子踊り』

年1回、夏になったら元気な姿で当施設を訪れてくださる「夢ほたる」の皆さんをご紹介いたします。子ども達が中心となっている「夢ほたる」の皆さんは、さまざまな施設で鳴子踊りボランティア活動を行っています。今年も7月にデイサービスで踊りを披露して下さいました。暑い日にも構わず、汗を流して踊っている皆さんの姿は元気そのものでした。軽快な音楽に合わせた力強い踊りは本当に楽しい一日をプレゼントして下さいました。何より皆さんお一人おひとりで元気をいっぱい分けて頂きました！



『見守り』

グループホームあいわでの夕方の時間帯はとても忙しいです。夕食の準備に掛かるスタッフはもちろんですし、住人さんの中でも何となく気持ちが落ち着かない方が見られます。1日が終わるからお家に帰ろうとされるのでしょうか、特に気を配らなくてはなりません。月2回この夕方の時間に見守りの活動を行ってくださるボランティアさんがいます。17時～19時半頃まであいわの住人さんと共に夕食を食べ、お話をしたり、お散歩したりしながらスタッフと共に住人さんを見守ってくださいます。食事の後片付けまで終わらせたら次来られる日を確認して帰られます。見守りのボランティアを始めてから1年が経過した今は、スタッフのような家族のような、あいわの皆さんとはとても親しくなっています。



お散歩の様子

『小さな歌の会』

あいわの傾聴ボランティアを行っている方のご紹介で来られた「小さな歌の会」（こう名付けました）のボランティアさんは“ピアノを少し弾けるけど何か出来る事があるのでしょうか？”と尋ねられました。歌うのが大好きな施設の住人さんにとって楽しむ事が又ひとつ増える瞬間でした。ピアノがないユニットにはキーボードを持って行って演奏します。やはり、生演奏があれば自然に歌いたくなるのでしょうか、マイクを渡したら遠慮しながらでも喜んで歌って下さいます。月2回の「小さな歌の会」は各ユニットを回りながら少人数で活動を行っています。移動が不便な住人さんにとっても音楽を楽しめる時間ですので、定着して活動が続けられることを願っています。



『メイクアップボランティア』

お誕生日の日など、ちょっとしたおしゃれをして出かけたくなる日。メイクアップボランティアさんが来てくれます。去年、当施設13周年設立記念文化祭の時に初めて来られたメイクさんはその後グループホームあいわで活動を続けています。メイクを受ける皆さんは恥ずかしがりながら笑みがこぼれます。衣装までコーディネートして頂いたら外出する準備は出来上がりです。“綺麗ですよ～”という声かけで笑顔になられる皆さん。その姿を見ていたメイクさんは“喜んでいただいてうれしい！よかった！”と小さな声でつぶやきます。

